

## 平成25年度 北海道音更高等学校学校評価 自己評価書

分野 領域	取り組んだ項目	達成状況	改善の方策
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の充実</li> <li>・授業参観週間を継続して設定</li> <li>・時数確保</li> <li>・シラバスの有効活用</li> <li>・協働体制構築</li> <li>・職員評価に伴う各教員の自己目標設定</li> <li>・昨年度の学校評価を振り返り、教育活動全般に改善を促した</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全項目とも計画どおり実施した。</li> <li>2 校内研修は「個別支援計画」「内規見直し」「普通科単位制」について実施した。</li> <li>3 授業参観週間は継続して合評会まで実施し、観点別評価に取り組む意識高揚が図れた。</li> <li>4 全教職員の共通理解と工夫により時数35週確保ができた。</li> <li>5 シラバスの充実により、生徒理解が深まった。</li> <li>6 各種教育活動において反省を活かし改善する姿勢が見られるようになった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価・学校職員評価システムの適切な実施</li> <li>・マゼンタの確立</li> <li>2 経営方針の具現化に向けた計画的な準備</li> <li>・コミュニケーション向上から生まれる組織力・協働意識形成</li> <li>3 ミドルリーダーの養成</li> <li>・時代の要請、教育改革の動向を踏まえた情報提供</li> <li>・教育活動相互の関連づけを意識する。</li> <li>4 授業評価の実施</li> <li>5 外部研修成果の還元促進</li> </ol>
教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・組織間連携の充実</li> <li>・個に応じた学習指導</li> <li>・学習習慣の確立</li> <li>・教材研究</li> <li>・基礎補習指導の実施</li> <li>・放課後、土曜日、長期休業中の進学講習の実施</li> <li>・家庭学習の推進</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒は落ち着いて授業に臨んだ。</li> <li>2 シラバスが全定共に整備され、教科科目の指導充実に繋がった。</li> <li>3 生徒の学習習慣の未確立改善に向け、家庭学習の推進に取り組み成果が上がった。</li> <li>4 基礎学力の定着とセンター試験に対応できる学力の養成に向け、ベネッセとの連携や基礎補習、進学講習の充実により、国公立現役合格者増加や評価平均値の向上という成果が見られた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の協働意識や連携を大切に、わかる授業から確かな学力の定着を目指す。</li> <li>2 教材研究の時間を確保する為ワークシートを推進し、業務の偏りが生じないように管理職、部長、主任を中心に職場環境づくりに取り組む。</li> <li>3 個に応じた学習指導の確立に向けて、教科科目に応じた対応等、検討する。継続</li> <li>4 家庭学習の推進。継続</li> </ol>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な教育相談の充実</li> <li>・個に応じた積極的な生徒指導の推進</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育相談の充実が図られ、個に応じた対応が取れた。</li> <li>2 教職員全員で取り組む意識が向上し、あらゆる場面で個人面談や教育相談が行われた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 積極的な生徒指導の促進</li> <li>2 多様な生徒集団に対応できる教員の指導力向上</li> <li>・教育相談スキルの上昇</li> <li>・危機管理意識の高揚</li> </ol>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の向上と職業観の育成</li> <li>・教務部と連携した進路マップの導入</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 進路意識の向上と職業観の育成に向けた取組は充実された。</li> <li>2 共通理解と協力体制が深まり、分掌間の連携が図られた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 分掌間連携の深化</li> <li>2 進学指導に力を入れる。国公立現役合格者増(普通科)</li> <li>3 インターネット 全定合同実施</li> </ol>
健康 安全 指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康、事故防止</li> <li>・施設、設備の点検</li> <li>・生徒の美化意識高揚</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 清掃、美化活動、健康及び事故防止指導が継続された。</li> <li>2 管理責任教室を定期的に点検し、施設・設備の安全点検に努めた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員室、管理教室を含め、日頃から整理整頓に努める。継続</li> </ol>
学級 学年 経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、学級経営を相互理解のもと協力して行う</li> <li>・学習習慣の 確立</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学年団、HR担任・副担任の連携が取れている。</li> <li>2 学年主任のリーダーシップが発揮されている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校の情報発信と家庭学習の定着を推進する。継続</li> <li>2 学年間の連携の深化。</li> </ol>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動は自発的、自治的な実践活動を展開</li> <li>・部活動は生徒の興味、関心、地域、学校の実態を考慮する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒会活動の充実により生徒の自主性が育まれた。</li> <li>2 部活動の活性化が顕著となった。</li> <li>3 前年度の反省を活かす取り組みができた。</li> <li>4 教職員のワークシートが進み、ゆとりから課外活動の充実へ繋がった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各行事や活動を丁寧に取扱い、年度を経る毎に生徒の充実感につなげる。継続</li> <li>2 生徒による自治の意識高揚を図り、自分たちで考え、道徳心を持って行動できる生徒を育てる。継続</li> </ol>
保護 者との 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ情報提供</li> <li>・公開授業や学校行事等に来校しやすい学校づくり</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員と保護者との意識の間のギャップが昨年度よりも改善され、課題意識の共有が図られた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報発信を推進する。</li> <li>2 保護者の声に傾聴し、学校課題を見出す。</li> </ol>

# 平成25年度 北海道音更高等学校学校評価 学校関係者評価書

学校関係者評価の基準

【 A : 十分 B : 概ね十分 C : やや不十分 D : 不十分 】  
 【 A : 4 B : 3 C : 2 D : 1 】  
 【 A : 4~3.5 B : 3.4~2.5 C : 2.4~1.5 D : 1.4~1 】

分野領域	取り組んだ項目	達成状況	改善の方策	評価
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の充実</li> <li>授業参観週間を継続して設定</li> <li>時数確保</li> <li>シラバスの有効活用</li> <li>協働体制構築</li> <li>職員評価に伴う各教員の自己目標設定</li> <li>昨年度の学校評価を振り返り、教育活動全般に改善を促した</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1全項目とも計画どおり実施した。</li> <li>2校内研修は「個別支援計画」「内規見直し」「普通科単位制」について実施した。</li> <li>3授業参観週間は継続して合評会まで実施し、観点別評価に取り組む意識高揚が図れた。</li> <li>4全教職員の共通理解と工夫により時数35週確保ができた。</li> <li>5シラバスの充実により、生徒理解が深まった。</li> <li>6各種教育活動において反省を活かし改善する姿勢が見られるようになった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1学校評価・学校職員評価システムの適切な実施</li> <li>・マツノ・Mトサイクルの確立</li> <li>2経営方針の具現化に向けた計画的な準備</li> <li>・コミュニケーション向上から生まれる組織力・協働意識形成</li> <li>3ミドルリーダーの養成</li> <li>・時代の要請、教育改革の動向を踏まえた情報提供</li> <li>・教育活動相互の関連づけを意識する。</li> <li>4授業評価の実施</li> <li>5外部研修成果の還元促進</li> </ol>	B 3.4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会を中心とした生徒の自主性が素晴らしい。</li> <li>・学校開放講座により高校の教育力が地域住民に還元されている。</li> <li>・農業科施設の有効活用が図られた。</li> <li>・各種通信の充実と保護者への情報発信の充実を望む。</li> </ul>			
教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着</li> <li>組織間連携の充実</li> <li>個に応じた学習指導</li> <li>学習習慣の確立</li> <li>教材研究</li> <li>基礎補習指導の実施</li> <li>放課後、土曜日、長期休業中の進学講習の実施</li> <li>家庭学習の推進</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1生徒は落ち着いて授業に臨んだ。</li> <li>2シラバスが全定共に整備され、教科科目の指導充実に繋がった。</li> <li>3生徒の学習習慣の未確立改善に向け、家庭学習の推進に取り組み成果が上がった。</li> <li>4基礎学力の定着とセンター試験に対応できる学力の養成に向け、ベネッセとの連携や基礎補習、進学講習の充実により、国公立現役合格者増加や評価平均値の向上という成果が見られた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1教職員の協働意識や連携を大切に、わかる授業から確かな学力の定着を目指す。</li> <li>2教材研究の時間を確保する為ワークシートを推進し、業務の偏りが生じないように管理職、部長、主任を中心に職場環境づくりに取り組む。</li> <li>3個に応じた学習指導の確立に向けて、教科科目に応じた対応等、検討する。継続</li> <li>4家庭学習の推進。継続</li> </ol>	B 2.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の使用状況が良い。きれいである。</li> <li>・単位制に向けた先生方の取組のスピードアップを期待します。</li> <li>・生徒の学校生活の様子をもっと情報提供して欲しい。</li> </ul>			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な教育相談の充実</li> <li>個に応じた積極的な生徒指導の推進</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1教育相談の充実が図られ、個に応じた対応が取れた。</li> <li>2教職員全員で取り組む意識が向上し、あらゆる場面で個人面談や教育相談が行われた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1積極的な生徒指導の促進</li> <li>2多様な生徒集団に対応できる教員の指導力向上</li> <li>・教育相談スキルの向上</li> <li>・危機管理意識の高揚</li> </ol>	A 3.6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で見る音更高校生の外見や行動にも乱れが無く、落ち着きが見られるようになった。</li> <li>・音更高校生徒の挨拶は素晴らしい。</li> <li>・学校全体が穏やかになった。</li> </ul>			
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識の向上と職業観の育成</li> <li>教務部と連携した進路マップの導入</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1進路意識の向上と職業観の育成に向けた取組は充実された。</li> <li>2共通理解と協力体制が深まり、分掌間の連携が図られた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1分掌間連携の深化</li> <li>2進学指導に力を入れる。国公立現役合格者増(普通科)</li> <li>3インターシップ全定合同実施</li> </ol>	A 3.5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学進学生徒が増加したことは良い。今後も継続して欲しい。</li> </ul>			
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康、事故防止</li> <li>施設、設備の点検</li> <li>生徒の美化意識高揚</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1清掃、美化活動、健康及び事故防止指導が継続された。</li> <li>2管理責任教室を定期的に点検し、施設・設備の安全点検に努めた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1職員室、管理教室を含め、日頃から整理整頓に努める。継続</li> </ol>	B 3.0
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校がきれいになりました。</li> </ul>			

学級 学年 経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学年、学級経営を相互理解のもと協力して行う</li> <li>• 学習習慣の 確立</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学年団、HR担任・副担任の連携が取れている。</li> <li>2 学年主任のリーダーシップが発揮されている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校の情報発信と家庭学習の定着を推進する。継続</li> <li>2 学年間の連携の深化。</li> </ol>	B 2. 8
・学級通信や学年通信の充実を願います。				
特別 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生徒会活動は自発的、自治的な実践活動を展開</li> <li>• 部活動は生徒の興味、関心、地域、学校の実態を考慮する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒会活動の充実により生徒の自主性が育まれた。</li> <li>2 部活動の活性化が顕著となった。</li> <li>3 前年度の反省を活かす取り組みができた。</li> <li>4 教職員のワークアプが進み、ゆとりから課外活動の充実へ繋がった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各行事や活動を丁寧に取扱い、年度を経る毎に生徒の充実感につなげる。継続</li> <li>2 生徒による自治の意識高揚を図り、自分たちで考え、道徳心を持って行動できる生徒を育てる。継続</li> </ol>	A 3. 7
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多くの部活動が全道大会へ進出しましたね。</li> <li>• P R 活動の強化を願います。</li> </ul>				